

平成30年11月1日

# まとい

火事・救急・救助は  
局番なし「119」  
町名・目標物を  
はっきりと

第222号

編集 桑名市消防本部予防課  
発行 桑名防火協会  
桑名危険物安全協会  
桑名市大字江場7番地  
☎ 0594-24-0135

URL <http://www.kuwabou.info>

# 秋の火災予防運動

11月9日(金)～  
11月15日(木)

忘れてない？

サイフに



スマホに  
火の確認

平成30年度 街頭啓発ポスター  
東員第一中学校2年  
黒澤咲絢さんの作品

2018年度全国統一防火標語



## 忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

桑名防火協会  
桑名危険物安全協会

URL <http://www.kuwabou.info/>

# 防火ポスター

入選作品決まる!

桑名市消防本部では、毎年火災予防啓発事業の一環として、桑名防火協会・桑名危険物安全協会の協力を得て、管内（桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町）小・中学校の児童生徒を対象に防火ポスターを募集しています。今年度は59校2839人の児童・生徒が火災予防を願って描いてくれました。

平成30年9月27日、桑名市消防本部において審査会が行われ86点が入選、最優秀賞には東員第一中学校二年黒澤咲緒さんの作品（表紙に掲載）が選ばれました。この作品は平成30年度街頭啓発用防火ポスターとして管内各所の掲示板や事業所等に掲示し、火災予防啓発に活用させていただきます。



昨年度の防火ポスター展  
(イオンモール東員)

市長賞及び町長賞  
(小学校の部)



【桑名市長賞】  
大山田東小学校5年  
杉本知環さん



【いなべ市長賞】  
員弁西小学校6年  
奈良帆乃佳さん



【木曾岬町長賞】  
岬小学校6年  
木曾岬反町百伽さん



【東員町長賞】  
神田小学校6年  
森ニコルさん

(中学校の部)



【桑名市長賞】  
名中学校1年  
成徳間佐久竜聖さん



【いなべ市長賞】  
員弁中学校1年  
伊藤良恵さん



【木曾岬町長賞】  
岬中学校1年  
木曾岬浅井優人さん

※東員町長賞（最優秀賞）は表紙に掲載  
**桑名防火協会会長賞**

(小学校の部)

- 大山田東小学校5年 堀田真央さん
- 治田小学校5年 小森 葵さん
- 木曾岬小学校6年 久保陽飛さん
- 城山小学校6年 中園さくらさん

(中学校の部)

## 消防長賞

(小学校の部)

- 益世小学校5年 川上友鶴さん
- 十社小学校5年 竹口愛莉さん
- 木曾岬小学校6年 松添香子さん
- 笹尾西小学校6年 松田萌加さん

(中学校の部)

- 長島中学校3年 佐々朋春さん
- 員弁中学校1年 井上詩央里さん
- 木曾岬中学校1年 諸戸なぎささん
- 東員第一中学校1年 柴田莉子さん

※入選作品及び入選者名簿は桑名防火協会・桑名危険物安全協会のホームページに掲載しています。

## ★2019年防火カレンダー

桑名防火協会と桑名危険物安全協会の協力により、入選作品の中から12点を選び2019年版防火カレンダーを作成します。ご希望の方は消防本部予防課(24) 5279まで。

## ★防火ポスター展

入選作品86点は、秋の火災予防運動啓発活動として次の日程で「防火ポスター展」を実施します。

- 11月1日～11月11日
- イオンモール東員
- 11月14日～11月25日
- イオンモール桑名

# 消防通信

## 「西日本豪雨」被災地へ 緊急消防援助隊出動

はじめに、この災害により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

6月28日以降の台風7号や梅雨前線の影響により全国的に広い範囲で発生した豪雨(平成30年7月豪雨)により、特に近畿から中国地方にかけては甚大な被害をもたらしました。

桑名市消防本部は7月13日、緊急消防援助隊三重県大隊として、西日本地域



災害現場の確認と活動内容を指示

の「広島県熊野町川角地区」へ出動しました。

三重県大隊が被災地に到着した時点では、発災後一週間が経過し、未だ二名の所在が不明、その捜索が主な任務となりました。生存を左右する「72時間の壁」をはるかに超え、更に連日の猛暑日で生存救出は絶望的でしたが、わずかな望みを願う懸命な捜索活動を続けました。

現場は山の麓の急斜面を開発した住宅団地で、その中をコアストーンと言われる大きな岩を伴う土石流が流れ込み何もかもを破壊していました。今にも倒壊しそうな住宅や大きく変形した車、また火災の形跡もあり悲惨な光景でした。



土石流とコアストーン



### ★まだ何処かに！ 早く家族のもとへ！

消防の捜索活動は土砂を手掘りで搬出することでしたが、大量の土砂の中には家の屋根や大きな木があり難航しました。任された捜索エリアで発見することではできませんでしたが、二人は土石流とともに流され、他隊の捜索エリアにおいて心肺停止状態で発見されました。これによつて三重県大隊の任務は終了となりました。

私は活動中の休憩時間を利用して避難所(熊野町体育館)を訪れました。そこは間仕切り板などで区画され比較的整備されていました。様々な状況の被災者が避難していて、家も家族も無事な人が壊れた人、家族を亡くされた人や小さなお子さんを亡くされた方など、とてもデリケートな場所でした。



倒壊防止補強作業(ショアリング)を実施  
三重県大隊(上)と京都府大隊(下)

そこで一人のお母さんから当時の様子を聞くことができました。幸いその家族は怪我もなく家も無事だったので、お母さんはお子さんを守るため、赤ちゃんを抱え、もう一人の小さな子の手を握り、必死に大雨と濁流の中を避難されたそうです。

大切な人を守ることに、そのお話を聞いて我々消防の任務と目的が更に明確になりました。私たちが住む街にも、洪水や津波のハザードマップ、土砂災害警戒区域などの情報が提供されています。災害時の被害を軽減できる情報ですので、今一度確認をお願い致します。

大切な人のために。

桑名市消防署 植村正人



# 外国人の方も 安心して119番通報が出来ます!

## ■同時通訳による多言語対応の運用を開始しました!!

【対応言語】5か国語(英語、中国語、韓国語・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語)

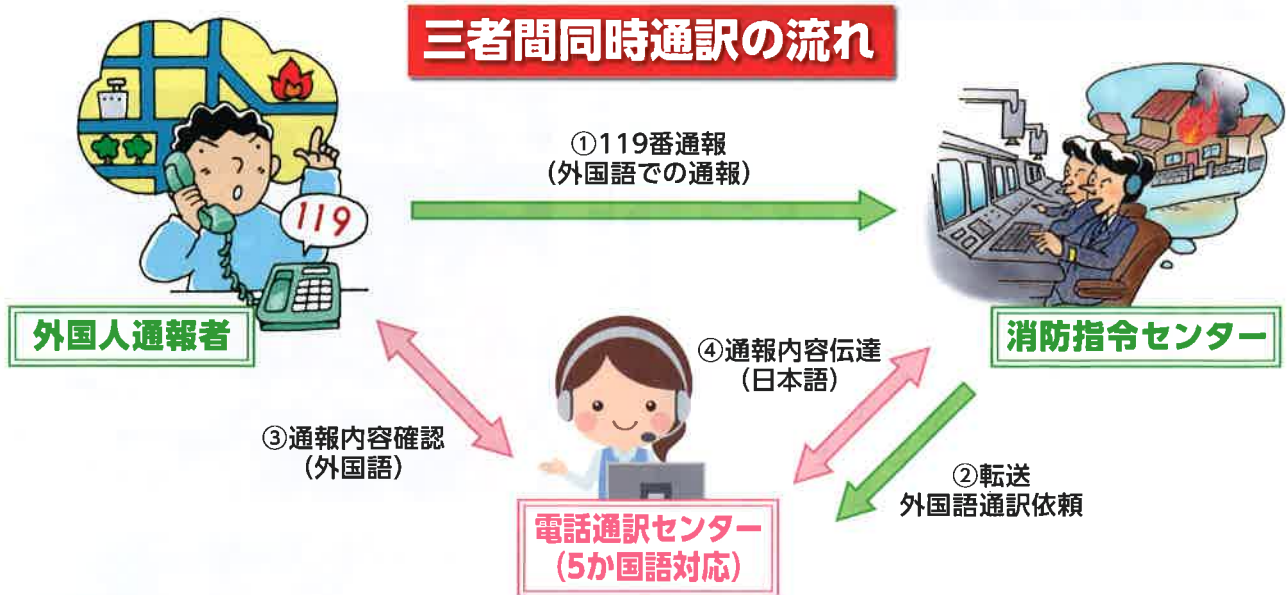
近年、当消防本部管内においても居住や観光のために訪れる外国人の方が増加しています。さらに今後、オリンピック等の国際大会の開催に伴う訪日外国人の方の増加も予想されます。

三重北消防指令センター(桑名市消防本部・四日市市消防本部・菟野町消防本部で共同運用)では平成30年6月1日、日本語が話せない外国人の方にも安心して119番通報ができるようにと、民間の通訳センターを介した「三者間電話同時通訳システム」を県内で初めて導入しました。



## ■システムの概要

外国人の方からの119番通報があったとき、災害・救急要請現場へ迅速に消防車や救急車を出動させるため、電話通訳センターを介して24時間365日主要な言語で対応するものです。



- 近くに日本語で意思疎通が可能な方がいる場合は、その方に119番通報を依頼してください。
- 通報は慌てず落ち着いておこなってください。住所や現場の目標物を伝えてください。
- 電話通訳センターと接続する間、一時無音になりますがそのまましばらくお待ちください。

## お問い合わせ

**消防本部 通信指令課** (三重北消防指令センター 四日市市中消防署中央分署内)

☎059-325-3119 (fax)059-325-3118 E-MAIL:shireim@city.kuwana.lg.jp